

NY マーケットレポート (2014年7月3日)

NY 市場では、注目された米雇用統計において、非農業部門雇用者数が市場予想を大きく上回る結果となり、5 ヶ月連続で+20 万人の大台を上回ったことや、失業率が2008年9月以来の低水準に改善したことを好感して、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、利上げ時期が早まるとの見方が広がったことも支援材料となった。ドル/円は、4月4日以来の高値を付ける動きとなった。そして、ダウ平均株価、S&P500 指数が共に最高値を更新する動きとなったことから、安全資産とされる円を売る動きが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、ユーロは、ドラギ ECB 総裁が定例会見において低金利を維持する姿勢をあらためて示唆したことを嫌気して、主要通貨に対して軟調な動きとなった。

2014/ 7/ 3 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.94	101.95	101.77
EUR/JPY	139.25	139.28	138.97
GBP/JPY	174.87	174.92	174.66
AUD/JPY	95.51	96.13	95.40
EUR/USD	1.3662	1.3665	1.3645

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.96	101.87
EUR/JPY	139.26	139.05
GBP/JPY	174.94	174.51
AUD/JPY	95.61	95.49
EUR/USD	1.3663	1.3648

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15348.29	-21.68
ハンセン指数	23531.44	-18.18
上海総合	2063.23	+3.81
韓国総合指数	2010.97	-4.31
豪ASX200	5491.25	+35.84
インドSENSEX指数	25823.75	-17.46
シンガポールST指数	3273.15	+9.24

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6865.21	+48.84
仏CAC40	4489.88	+45.16
独DAX	10029.43	+118.16
ST欧州600	348.53	+2.85
西IBEX35指数	11090.00	+73.80
伊FTSE MIB指数	21884.60	+206.02
南ア 全株指数	51950.18	+66.47

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.19	102.27	101.89
EUR/JPY	139.06	139.28	138.95
GBP/JPY	175.27	175.38	174.55
AUD/JPY	95.50	95.68	95.33
NZD/JPY	89.42	89.56	89.09
EUR/USD	1.3610	1.3654	1.3597
AUD/USD	0.9347	0.9380	0.9329

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17068.26	+92.02
S&P500	1985.44	+10.82
NASDAQ	4485.93	+28.19
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	15207.11	-2.68
ボルサ指数	43660.70	+381.22
ボベスパ指数	53874.58	+845.80

*米株式市場は短縮取引

7/4 経済指標スケジュール

15:00 【独】5月製造業受注
 16:30 【独】6月建設業PMI
 16:30 【スウェーデン】5月鉱工業生産
 22:00 【メキシコ】消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1320.60	-10.30
NY 原油	104.06	-0.42
CMEコーン	417.00	-1.50
CBOT 大豆	1387.75	-4.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.51%	0.48%
3年債	0.96%	0.92%
5年債	1.74%	1.71%
7年債	2.24%	2.22%
10年債	2.64%	2.63%
30年債	3.47%	3.46%

*米債券市場は短縮取引

7/4 主要会項・講演・その他予定
・米国はIndependence Day (独立記念日)

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州市場

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州政策金利発表 0.15% (予想 0.15%・前回 0.15%)

限界貸出金利 0.40% (予想 0.40%・前回 0.40%)

中銀預金金利 -0.10% (予想 -0.10%・前回 -0.10%)



(出所:ブルームバーグ)

21:00

ドル/円 101.89 ユーロ/円 139.08 ユーロ/ドル 1.3652

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6847.83	+31.46	ダウ INDEX FUTURE	16914	+15
仏 CAC40	4459.29	+14.57	S&P500 FUTURE	1969.60	+1.90
独 DAX	9975.31	+64.04	NASDAQ FUTURE	3894.00	+4.25

(出所:SBILM)

21:30

< 経済指標の結果 >

6月米失業率 6.1% (予想 6.3%・前回 6.3%)

6月米非農業部門雇用者数 28.8万人 (予想 21.5万人・前回 22.4万人)
 前回発表の21.7万人から22.4万人に修正

6月米労働参加率 62.8% (前回 62.8%)

6月米平均時給 (前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.2%)

6月米平均時給 (前年比) 2.0% (予想 1.9%・前回 2.1%)

6月米週平均労働時間 34.5 (予想 34.5・前回 34.5)



指標結果データ
 <<米雇用統計>>

	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月
失業率	6.1	6.3	6.3	6.7	6.7	6.6	6.7
非農業部門雇用者数	28.8	22.4	30.4	20.3	22.2	14.4	8.4
民間部門雇用者数	26.2	22.4	27.8	20.0	20.1	16.6	8.6
平均週間労働時間	34.5	34.5	34.5	34.5	34.3	34.4	34.3
労働参加率	62.8	62.8	62.8	63.2	63.0	63.0	62.8



(出所: ネットダニアー)

21:30

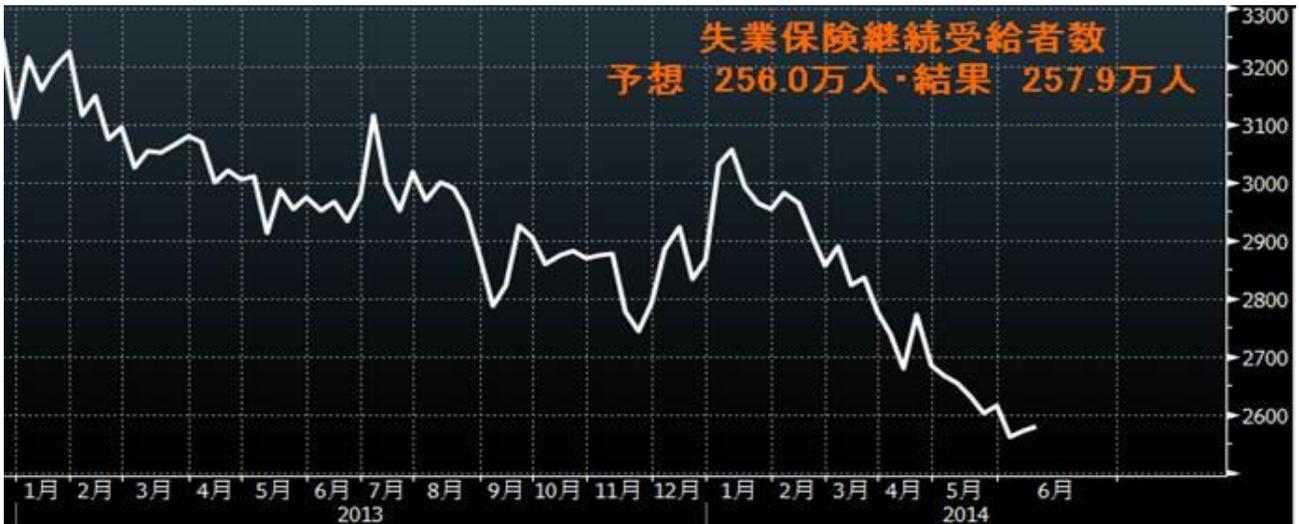
<< 経済指標の結果 >>

新規失業保険申請件数 31.5 万件 (予想 31.3 万件・前回 31.3 万件)
 前回発表の 31.2 万件から 31.3 万件に修正

失業保険継続受給者数 257.9 万人 (予想 256.0 万人・前回 256.8 万人)
 前回発表の 257.1 万人から 256.8 万人に修正



(出所: ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
14/06/28	+2,000	315,000	2,579,000	2.0%
14/06/21	-1,000	314,500	2,568,000	2.0%
14/06/14	-4,000	312,250	2,559,000	1.9%
14/06/07	+5,000	315,500	2,615,000	2.0%
14/05/31	+9,000	310,500	2,603,000	2.0%
14/05/24	-23,000	312,500	2,623,000	2.0%
14/05/17	+29,000	322,750	2,648,000	2.0%
14/05/10	-23,000	323,500	2,666,000	2.0%
14/05/03	-24,000	325,250	2,676,000	2.1%
14/04/26	+15,000	320,250	2,741,000	2.1%
14/04/19	+25,000	317,000		
14/04/12	+4,000	312,000		
14/04/05	-31,000	316,500		

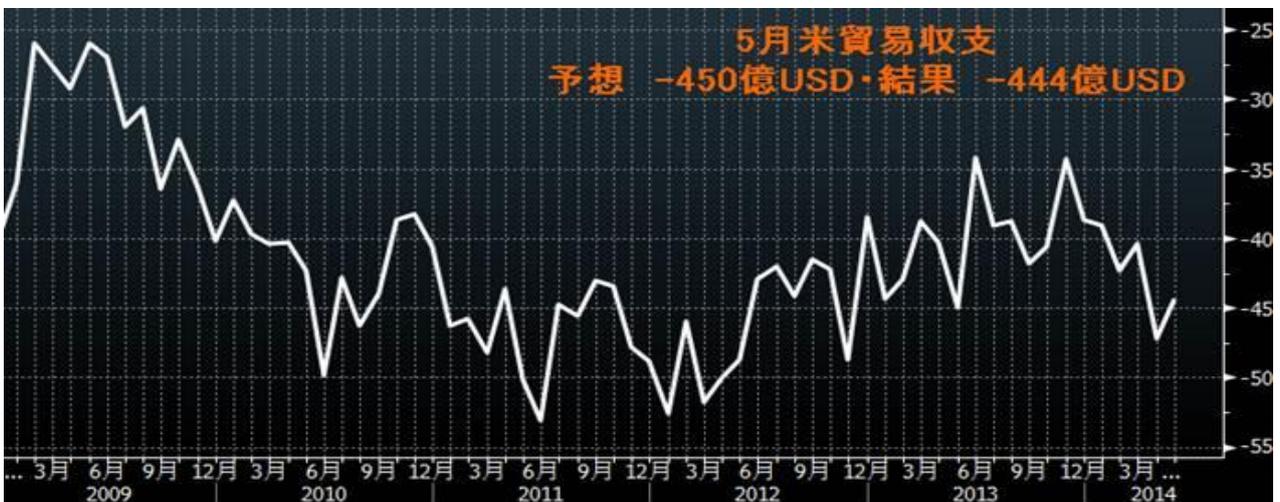
受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

《経済指標の結果》

5月米貿易収支 -444億USD (予想 -450億USD・前回 -470億USD)

前回発表の-472億USDから-470億USDに修正



(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

<< 経済指標の結果 >>

5月カナダ国際商品貿易 -1.5億CAD (予想 -3.0億CAD・前回 -9.6億CAD)
 前回発表の-6.4億CADから-9.6億CADに修正



(出所:ブルームバーグ)

21 : 40

<< 要人発言 >>

ドラギ ECB 総裁～定例理事会

- ・「ユーロ圏の中長期インフレ期待、目標の2%を下回る水準で依然しっかり抑制」
- ・「6月発表の一連の措置、金融政策スタンスの一段の緩和につながった」
- ・「ECBの金利はかなりの期間、現在の水準にとどまる見込み」
- ・「低インフレの期間が長すぎるリスクに対処するため必要なら非伝統的措置を講じる用意」
- ・「理事会は手段講じるコミットメントについて全員一致している」
- ・「きょうの理事会でTLTROの詳細について決定、この後公表する」
- ・「ABS買い入れの準備作業を加速した」
- ・「ユーロ圏の経済見通しをめぐるリスク、依然下振れ」
- ・「地政学リスク・新興国市場の状況・世界的金融市場が経済環境に悪影響及ぼす可能性」
- ・「予想下回る内需や不十分な構造改革も成長への下振れリスク」
- ・「EU基準の前年比インフレ率、今後数カ月は低水準にとどまる見通し」
- ・「2015・16年にインフレ率は段階的に上昇する見通し」
- ・「物価見通しは、中期的に上振れ・下振れリスクは限定的でほぼ均衡」
- ・「地政学リスクと為替動向による影響を注視」
- ・「理事会は2015年1月から6週間ごとの開催に変更」
- ・「2016年末までの全額供給とガイダンスの期間、直接関連はない」
- ・「TLTRO総額、1兆ユーロに到達する可能性」
- ・「TLTROは、インフレ率を目標に戻すことに有用」

22 : 34

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17029.44	+53.20
ナスダック	4473.48	+15.74

(出所:SBILM)

22 : 45

< 経済指標の結果 >

6月マーケット米国サービス業PMI 61.0 (予想 61.0・前回 61.2)

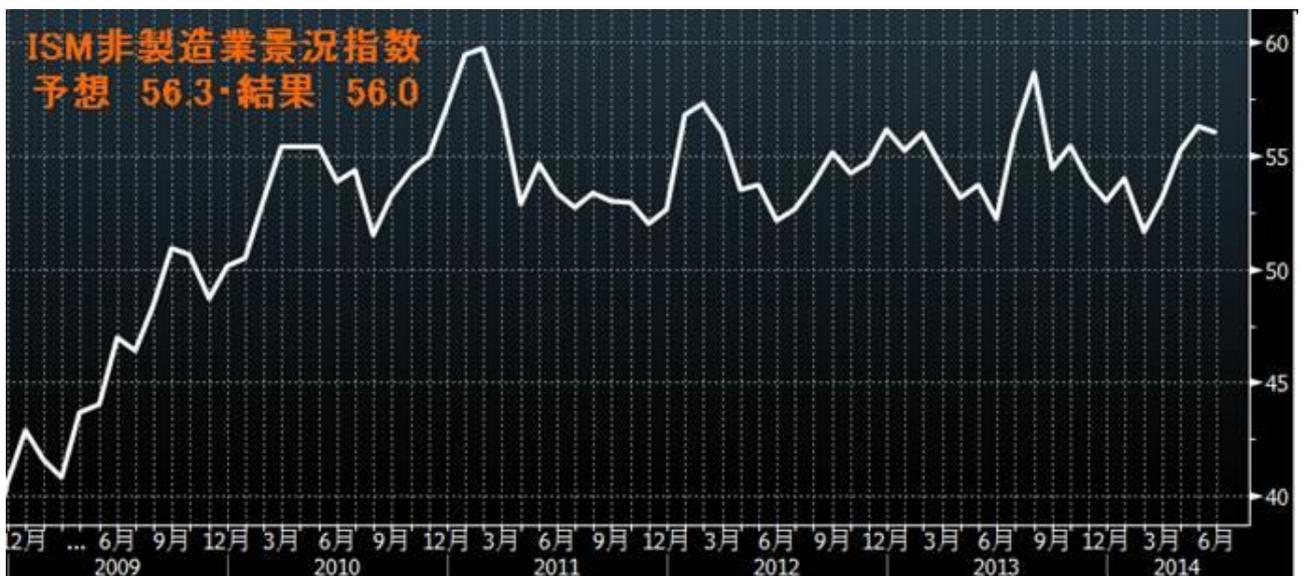


(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

< 経済指標の結果 >

ISM非製造業景況指数 56.0 (予想 56.3・前回 56.3)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月
総合指数	56.0	56.3	55.2	53.1	51.6	54.0	53.0
景況指数	57.5	62.1	60.9	53.4	54.6	56.3	55.2
仕入価格	61.2	61.4	60.8	58.3	53.7	57.1	55.1
新規受注	61.2	60.5	58.2	53.4	51.3	50.9	49.4
雇用者数	54.4	52.4	51.3	53.6	47.5	56.4	55.8

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、6月の米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて、米景気の回復の勢いが増すとの見方から買い融資となり、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 78 ドル高まで上昇し、1日につけた取引時間中の最高値を超え、初めて 17000 ドルに乗せている。また、S&P 取引時間中の最高値を更新する動きとなっている。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) ECB は、ユーロ圏 18 カ国の金融政策を決める理事会で、主要政策金利を過去最低の 0.15% で据え置くことを決定した。また、限界貸出金利を 0.40%、中銀預金金利を -0.10% で据え置いた。主要中銀として初めてとなる銀行からの余剰資金受け入れでのマイナス金利導入や追加利下げを 6 月に決めただけで、効果を見極めるのが狙いと考えられる。

(2) 6月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比+28.8万人と、市場予想の+21.5万人を上回る結果となり、5ヵ月連続で+20万人の台を上回った。また、4月は+28.2万人から+30.4万人に、5月は+21.7万人から+22.4万人に上方修正されており、米労働市場がハイペースで改善していることが示される内容となった。また、失業率は 6.1% と前月から 0.2 ポイント改善し、2008 年 9 月以来の低水準となった。民間部門雇用者数は、サービス業が+23.6万人、製造業も+1.6万人、耐久財製造業がプラスとなる一方、非耐久財製造業はマイナスだった。自動車・部品関連や、輸送業・倉庫業が伸びたほか、情報業もプラスだった。また、政府部門雇用者数は、連邦、州政府、地方政府とも増加した。

(3) 5月の米貿易収支は、赤字額が国際収支ベースで前月比-5.6%の 443 億 9200 万ドル（約 4 兆 5000 億円）と 6ヵ月ぶりに縮小に転じた。海外景気の持ち直しで、特に中南米や欧州向けの輸出が増え、輸出総額は+1.0%の 1954 億 5600 万ドルと過去最高を更新した。一方、輸入総額は-0.3%の 2398 億 4800 万ドルとなった。モノの貿易赤字は-7.3%の 618 億 100 万ドル。対日赤字は-14.6%の 51 億 800 万ドル。対中赤字は+5.8%の 287 億 7000 万ドルとなった。

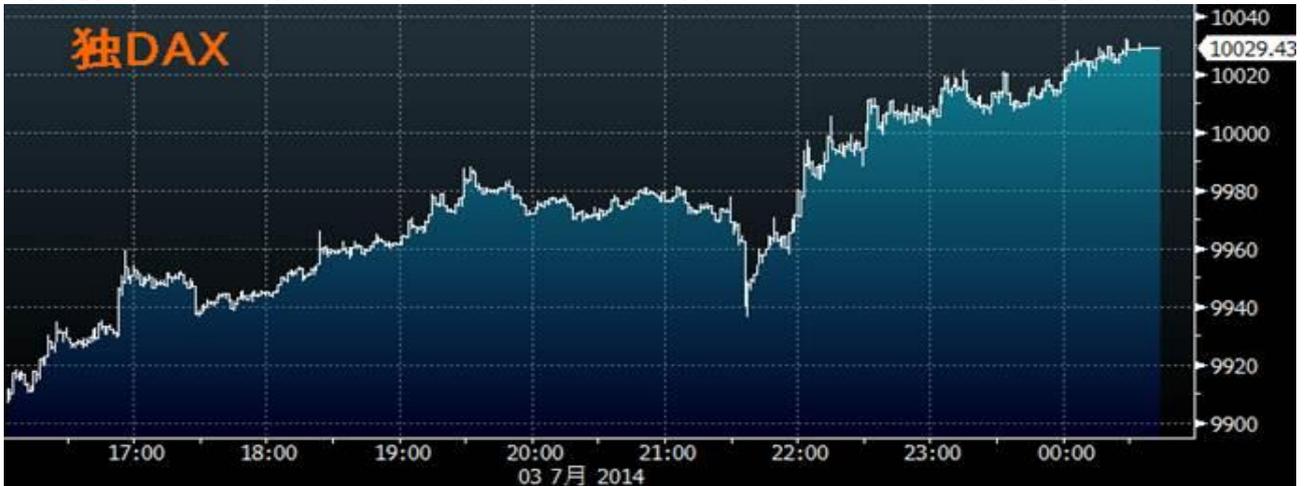
(4) 米失業保険申請件数は、前週比+0.2万人の 31.5万人と、市場予想の 31.4万人とほぼ同水準のとなった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+500人の 31.5万人となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.1万人の 257.9万人となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-0.6万人の 258 万 250 人で、2007 年 10 月 27 日までの週以来の低い水準となった。そして、受給者比率は、前週から横ばいの 2.0%。

欧州主要価	終値	前日比
英 FT100	6865.21	+48.84
仏 CAC40	4489.88	+45.16
独 DAX	10029.43	+118.16
ストック欧州 600 指数	348.53	+2.85
ユーロファースト 300 指数	1398.24	+13.15
スペイン IBEX35 指数	11090.00	+73.80
イタリア FTSE MIB 指数	21884.60	+206.02
南ア アフリカ全株指数	51950.18	+66.47

(出所:SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、米雇用統計が市場予想を上回る強い内容だったことを受けて米景気の先行きに期待があった。また、ECB が緩和的な姿勢を強調したことも支援材料となり、主要株価は続伸となった。独 DAX は、終値ベースでの最高値を更新した。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17066.55 (+90.31)、S&P500 1982.72 (+8.10) ナスダック 4481.35 (+23.61)

◀ NY 債券市場 ・午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、6月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、失業率も改善したことから、米雇用の力強い回復が示されたとして投資家のリスク志向が高まり、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.49% (前日3.46%)、10年債が2.66% (2.63%)、7年債が2.26% (2.23%)、5年債が1.75% (1.71%)、3年債が0.96% (0.92%)、2年債が0.51% (0.49%)。

3:30

NY金は、中心限月が前日比10.30ドル安の1オンス=1320.60ドルで取引を終了した。

4:10

NY原油は、中心限月が前日比0.42ドル安の1バレル=104.06ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1320.60	-10.30
NY 原油	104.06	-0.42

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

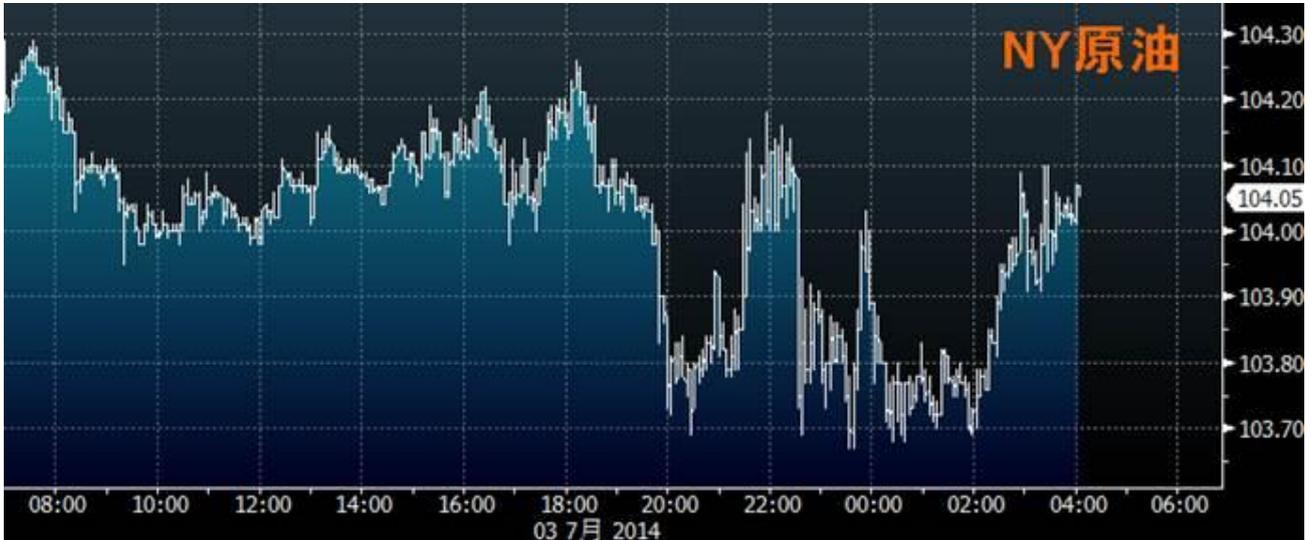
NY金は、6月の米雇用統計で非農業部門の就業者数が市場予想を上回り、失業率も大きく改善したことから、比較的安全な資産とされる金を売却する動きが優勢となった。また、FRBが想定より早く利上げに踏み切るとの観測も圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、リビアの原油輸出再開で供給が増えるとの観測が、引き続き圧迫材料となり、売りが先行した。しかし、米雇用統計の改善を受けて、米景気の回復に伴うエネルギー需要の増加期待から買いが入も入り、下げ幅は限定的となった。終値ベースでは、6営業日続落となり、6月上旬以来約1ヵ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17068.26	+92.02	17074.65	16979.00
S&P500種	1985.44	10.82	1985.59	1975.88
ナスダック	4485.93	+28.19	4485.93	4463.85

* 本日の米株式市場は短縮取引

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、6月の米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて、米景気の回復の勢いが増すとの見方から買いが優勢となり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で98ドル高まで上昇し、史上最高値を更新した。また、初めて17000ドルに乗せており、終値ベースでも最高値を更新して引けた。また、S&P500指数も、取引時間中、終値ベースでの最高値を更新する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.19	102.27	101.89
EUR/JPY	139.06	139.28	138.95
GBP/JPY	175.27	175.38	174.55
AUD/JPY	95.50	95.68	95.33
NZD/JPY	89.42	89.56	89.09
EUR/USD	1.3610	1.3654	1.3597
AUD/USD	0.9347	0.9380	0.9329

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計において、雇用者数の伸びが予想以上の増加となったことや、失業率が改善したことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇となり、ドル/円は一時 102.27 まで上昇し、6 月 18 日以来の高値を付ける動きとなった。また、株価が堅調な動きとなり、豪ドル円など堅調な動きとなったものの、ユーロは対ドルでの下落が影響して、対円でも上値の重い動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。